

SUPPORT NEWS

あなたの想いを、私の想いをかたちにしたい・・・
地域福祉の観点からだれもが自分らしく生きていける社会を目指します。

NPO法人 地域福祉サポートちた

もくじ

□改正NPO法成立、認定NPO法人要件緩和1P	□「子ども若者支援者ネットワーク会議」始まる2P	□サポ-トちたのミッションにつながる！人につながる！地域につながる！この夏おススメ講座が目白押し！3P
	□東海東京証券 新入社員研修2P	□インフォメーション4P
	□NPO職員リレー2P	

改正NPO法成立、認定NPO法人要件緩和

代表理事 岡本一美

震災で明確になったことの一つに、義援金と支援金の違いがあります。今回、日本各地から非常に多くの資金を集めた日赤や中央共同募金会等の義援金は、県域や制度が制約になり、被災者の手元に届くのが大変遅れています。一方、現地で活動するNPOを応援する支援金は、現場で即使える資金として、被災地のニーズに即応した物資や支援活動に使われつつあります。

サポートちたでも、認定NPO法人である茨城NPOセンター・ commonsの「ホ-プ茨城募金」を応援していますが、これまで合計28万8千円の温かい志を届けることができました。ご協力いただきましたみなさま、本当にありがとうございました。

さて、この「ホ-プ茨城募金」は6月末現在で935万円の寄付が集まったそうです。この資金は、復興に取り組む茨城と福島両県常磐地域の活動に使われていることから、募金の名称を「ホ-プ常磐募金」に変更し、いわき市での津波ゴミのかたづけや観光・農業再建、避難者の見守りやコミュニティづくり、福島からの避難者への住居や職の情報提供、放射能リスクから子どもを守る活動などを応援していくそうです。

このような、寄付に支えられるNPOの活動を推進するために、6月15日改正NPO法が成立、税制改正法案も可決され、認定NPO法人等への寄付金に対する税額控除導入など税制優遇も拡充します。全国で215しかない認定NPO法人を大幅に増やすため、認定権限を国税庁から都道府県と政令指定都市に移し手続きを迅速化するとともに、「事業収入のうち寄付が5分の1以上」という認定基準を緩和。「3千円以上の寄付をした人が年平均100人以上（その法人の役員は除く）」「条例指定（例：地域の实情から先の100人を50人にする等）」が加わることになりました。

これにより、知多地域でも認定NPO法人誕生が期待できそうです。「新しい公共」を担うNPO法人への寄付が促進され、活動基盤整備につながるよう、支援させていただきたいと思います。

地域交流施設など続々新施設建設



会員団体では、下記のように新たな施設建設が進められている。オープンはさくらが今秋、そのほかは24年4月の予定。

- NPO法人あかり
認定子ども園(社会福祉法人知多学園運営)併設地域交流施設(喫茶・クラブ活動・介護予防)
- 社会福祉法人みやび(NPO法人ネットワーク大府)
地域密着型特別養護老人ホーム・併設ショートステイ・グループホーム
- NPO法人介護サービスさくら
適合高齢者専用賃貸住宅・グループホーム・小規模多機能型居宅介護

「子ども若者支援者ネットワーク会議」始まる

いろいろな取り組みや専門機関があるのに、なかなか解決の糸口が見つからない。4月16日の子ども若者自立支援地域フォーラムをきっかけに集まったNPO、子育て支援運営者、技能連携校、大学院研究生、塾運営者を含む計12名が出席。支援者の連携について、話し合いがスタートした。(市野)

●縦割りの弊害

就労支援について、ハローワーク、社会福祉協議会、行政それぞれがゆるやかな連携を阻む現状。

●学歴社会の弊害

少子化による学校経営悪化を防ぐため、学生の確保に拍車がかかっている。また、青年期になっても夢を追いつけ、現実逃避する側面があったり、お金を積むことで学校に居続けることを選ぶ親の問題。

●根本的な問題

子ども支援は親支援、親支援は家庭支援、家庭支援は地域支援。まず両親、とくに母親の自己肯定観を育むことから始まるのではないか。

●いま、求められる力

人と人がつながって生きているのが社会であり、常に地域や社会や周りの環境は変化する。その中で自分らしく生きていく力や、自分が社会にどう役に立つのか、向き合う力(人間力)を培う。たすけあいの事業所は人間力を培う道場であり、これが就労の場につながる。

東海東京証券 新入社員研修

「ボランティア体験」を通じて、社会のために自分ができることを積極的に提供していく「サービス」の基本姿勢を身につけることを目的とした、企業新人研修を行った。これは、高齢者福祉の現場で、相手の立場を配慮したコミュニケーションやサポートの仕方を学ぶもので、昨年に続き知多市社会福祉協議会と協働開催、会員10団体と7施設に84人が分散して現場を体験した。

体験後のふりかえりでは、「利用者の様子をうかがいながら、自分で仕事を見つけ出すスタッフの主体的な姿」「利用者一人一人にあわせた会話」「何でもしてあげるではなく、利用者の残存能力を活かす介助」「ス



スタッフ同士の声かけと笑顔で仕事をする姿勢が利用者の表情を生き生きさせる」「私たちが孫と呼び、いてくれるだけでうれしいと言われた喜び」など、たくさんの気づきが共有された。

とかく今の若者はコミュニケーション能力が低いと非難されるが、成長の過程でこうした多世代の交流機会をほとんど持たないため、その能力が引き出されないまま社会に出ていくことが多い。その機会さえあれば、感じ考え行動できる人になっていく。地域でこうした交流機会づくりをすすめ、人に関わる仕事を楽しいと思える若者を育てていくことが求められている。(岡本)

NPO担当職員リレー

清須市企画部企画政策課 主査 岡田善紀氏



元々は旧春日町職員として入庁。環境衛生・国民年金・農政・農業委員会・税務など様々な業務を担当し、平成20年度からは清須市・春日町合併協議会事務局で、両市町の合併協議・準備を担当した。平成21年10月の合併により、清須市職員として企画政策課へ

配属された。NPO施策を始めとして、総合計画・行政改革・市民協働・緊急雇用対策・地域公共交通など多岐に渡って業務を担当してきている。様々な業務に挑戦する力は、登山などで培った諦めない気持ちとヨーロッパを始めとする海外を放浪した経験が原動力となっている。

清須市が誕生して7月で6年が経過する。地域の特色を活かしたまちづくりが進む一方、旧4町の垣根を越えた一体感の醸成が清須市の課題となっている。この課題を解決する一つの手法として、アダプト・プログラムを推進している。市民団体の方に、公園や道路などの公共空間を清掃等で管理していただき、市の花「チューリップ」などの花を植栽する活動に多くの市民の方が参加している。参加団体は毎年増加傾向にあり、自発的な市民活動へのきっかけづくりを行っている。

昨年は、清須にあった城下町が名古屋へ丸ごと引っ越した「清須越」から400年という節目の年であった。歴史・文化的資源、豊かな水辺空間などの自然環境を最大限に活かした「清須越四百年事業」に取り組んだ。なかでも、市民参加により、400年の道のりを時代行列として演出した「清須返し 時代絵巻」は、千人を超える市民の方が参加し、武者行列や各地区の特色を活かした行列により一体感の醸成を目指し、清須を訪れた観光客もその魅力に酔いしれた。

今年は、NHK大河ドラマ「江～姫たちの戦国～」の江と三英傑の「絆」をテーマに、清須が歴史に果たした役割を全国へ発信している。(市野)

**サポートちたのミッションにつながる！ 人につながる！ 地域につながる！
この夏おススメ講座が目白押し！**

「地域の居場所」立ち上げ指南塾

～まずは、あなたの地域の中に歩いて
行ける居場所を一緒に作りませんか？～

私たちが目指す、安心して心豊かに暮らせる地域とは？ ライフワークの基盤に地域活動を考えている方を対象に、実際に居場所を立ち上げ、運営しているサポートちたの理事を講師に迎える。人と人との絆の再構築の拠点「ささえあいの居場所」の立ち上げのノウハウを知る7日間の連続講座。内容は、場所・資金・仲間づくり・運営などのマネジメントと、現場見学・現場体験を通して学ぶ実践型。

【日時】 7月14日～2月9日（第2木曜日）全7回
13:30～16:30

【会場】 知多市市民活動センター
第4・第5回のみ「てらもと輪が家」

【費用】 無料（あいちモリコロ基金助成事業）

【担当】 市野

※実践に向けてのフォローアップや個別相談
対応も無料。



こども支援者のためのABC

～学校教育に携わる人のための
現代っ子理解講座～



好評につき今年度も、学校教育に携わる人のための現代っ子理解講座を開催。教員・保育者・生活支援員・相談員など、子どもたちに関わる仕事をしている方を対象に、元特別支援学級担任、言語聴覚士等、専門家を講師に迎え、今どきの学校や子どもたちの現状を知る11日間の研修。内容は、参加者とともに解決策を考え合いながら課題整理する。

【日時】 7月26日（火）～8月26日（金）全11回
10:00～16:00

【会場】 知多市市民活動センター2階会議室

【費用】 各回1,000円

※ 現場見学バスツアーのみ5,000円

【担当】 海老原

Hear?
or
Listen?

**あなたは聞き上手？
それとも聴き上手**

そんなあなたのマナー講座

ボランティアやNPO団体で働きはじめ、社会デビューしたもの、やる気やまごころを相手に伝えるのってどうすればいいの？ そんなスタッフの声から生まれたスキルアップ講座。内容は、仕事から日常のコミュニケーションまで、人の心をひきつける傾聴の基本を学ぶ。対象はどなたでもどうぞ。

【日時】 9月24日（土） 10:00～12:00

【会場】 知多市市民活動センター2階会議室

【定員】 20名（先着順）

【費用】 2,000円

【講師】 石田真紀 マナー&コミュニケーション講師
福祉・介護接遇マナー講師

【持ち物】 筆記用具

【担当】 市野

ホームヘルパー2級養成研修講座

【日時】 8/5～10/31（月・水・金） 9:30～16:30

【会場】 雁宿ホール・知多市市民活動センター

【定員】 40名

【費用】 52,000円（テキスト代・実習費込）

【担当】 竹内

***☆* *:・° ICHINOMIYA 未来塾 *:☆.°**

私たちの住むこの地域が安全安心なまちでありたいと願う『キ*モ*チ』を誰かに伝えてみませんか？ともに未来のまちを創り出す住民として、子育て・福祉・まちづくり…何が必要か、何ができるのかを学びあう講座。

【日時】 10月15日、10月22日、10月29日、
11月 5日、11月19日 13:30～16:30

【会場】 一宮ファッションデザインセンター
4階研修室

【定員】 20名

【費用】 無料

【担当】 江ノ上



サポちた インフォメーション

会員さんなどから集まる情報をお知らせします。お気軽に情報をお寄せ下さい。

■Panasonic NPOサポートファンド

「組織診断」を核とした、より戦略的に社会課題を解決できるようになるために、組織運営上の課題を抽出し、解決の方向性を見出す立案と実行の組織基盤強化を2段階で支援する。

□助成対象 環境分野・子ども分野

□応募受付期間 7月15日(金)～8月1日(月)

□過去の助成事例やキャパシティビルディングの有効性に関する報告等 <http://panasonic.co.jp/cca/pnsf>

□問合せ・事務局 [環境](N)地球と未来の環境基金担当 美濃部,木村 ☎03-5298-6644 [子ども](N)

市民社会創造ファンド 担当 坂本,武藤 ☎03-3510-1221 問合せは、月～金曜日10時～17時まで

■第8回パートナーシップ大賞

CSR(企業の社会的責任)の高まり、市民活動の多様化などが相まって新しい市民社会・新しい公共の実現をめざす。NPOと企業の協働事業を7月31日(日)まで募集。

□最終審査 11月26日(土)13:30名古屋国際センター

□対象事業 国内のNPO 団体と企業の協働事業

□応募問合せ NPO 法人パートナーシップ・サポートセンター ☎052-762-0401 <http://www/psc.or.jp>

■「読み聞かせカセット」プレゼント

読み聞かせによる“家族のきずな”推進活動として、読み聞かせや子育て支援等をおこなっているNPO 団体を対象にオリジナル絵本を送る。詳細は<http://www.seiho.or.jp/>

□応募締切 平成23年8月31日(水)

□問合せ先 (社)生命保険協会 愛知県事務室 ☎052-971-5233

■いのちの響きあい【ミツバチの羽音と地球の回転】

～つながるいのちの映画祭 2011～

原発に反対してきた祝島の人たちの日々と、自然エネルギーの自給自足を選択した北欧の小さな村のドキュメンタリーを7月31日(日)13時～南生協病院にて上映。申込問合せ にんじんCLUB ☎0568-71-4114

■サマーアタック 2011 特別企画～魂が号泣する感動のドキュメンタリー映画【うまれる】104分～

□7月31日(日)さくら小学校体育館(冷房完備)

◇ママタイム(赤ちゃん・乳幼児連れ親子100組対象)

10:15～12:00 ◇一般(200人)13:30～15:15

□参加費 前売り(大人)800円、当日(大人)1,000円、中学生以下500円 ※乳幼児は無料

□問合せ(N) 共育ネットはんだ 水野 ☎090-8079-8809 E-mail nao-527@space.ocn.ne.jp

※さくら小学校へのお問合せはご遠慮ください。

■常勤職員募集！！

地域のニーズに応え、平成23年4月より障がい児対象のデイサービスを開設しました。放課後や長期休暇に子どもたちを預かり、元気いっぱい過ごしています。子どもが好きな方、人との関わりを仕事にしたい方、ぜひ一緒に働きませんか？

ヘルパー、保育士資格を持った方、同時募集！！

資格がなくても、チャレンジで受講できる「重度訪問介護従事者養成講座」も開いています。見学、説明は随時行っています。興味のある方はぜひお問合せください。

(N)チャレンジド ☎0569-87-6727 担当：土肥

■夏休み期間中のアルバイト募集！！

学童保育“りんごクラブ”では、子どもも好きなサポーターを募集しています。子どもと一緒にプールに入れる方大歓迎！期間は7月上旬～8月末(月～金)、時間は9時～18時の間で数時間、特に9時～15時を募集。(要相談)時給800円、興味のある方はぜひお問合せください。

(N)りんりん ☎0569-32-6616 担当：村上(明),下村

■「基礎からわかるNPO会計」好評発売中！

【NPO法人会計基準◎対応版】これ1冊で実務に対応できる基礎からわかるNPO会計/学泉大学馬場英朗著 小椋淑子・中尾ゆかり執筆協力/B5判並製304ページ/カバー付/3,200円/合同出版/書店購入可能(見本、問合せはサポートちた市野まで)

NPO現場見学バスツアー

7月19日(火)9:30～16:30 定員8人

8月18日(木)9:30～16:30 定員26人

参加費 5,000円(昼食代別途)



オプションバスツアー常時受付中！
目的に合わせて企画します。(担当:江端)



特定非営利活動法人
地域福祉サポートちた

478-0047 知多市緑町12-1
知多市市民活動センター1階

Tel 0562 (33) 1631
Fax 0562 (33) 1743